

2020年10月吉日

学 校 長 殿
英 語 科 担 当 者 殿
E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 会 員 各 位

E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 会 長 本 多 敏 幸
第 2 6 回 研 究 大 会 実 行 委 員 長 八 木 孝 之

E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 第 2 6 回 研 究 大 会

盛夏の候、皆様方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 第 2 6 回 研 究 大 会 を、下 記 の 要 領 で 開 催 す る 運 び と な り ま し た。毎 年、多 くの 現 職 教 員 の 方 々 に 加 え 英 語 教 育 を 志 す 学 生 の 方 々 に も 熱 心 に ご 参 加 い た だ き、熱 気 あ ふ れ る 大 会 と な っ て お り ま す。こ れ も ひ と え に 皆 様 の ご 協 力 と ご 支 援 の 賜 と 感 謝 致 し て お り ま す。

昨 今、小 学 校 か ら 大 学 ま で、英 語 教 育 を め ぐ り 様 々 な 動 き が あ り ま す。本 学 会 で は、こ の よ う な 動 向 も ふ ま え つ つ、よ り よ い 英 語 教 育 を 目 指 し て、各 研 究 部 会 で 研 究 を 進 め て 参 り ま し た。今 年 度 は、オ ン ラ イ ン に て 開 催 し、参 加 者 の 皆 様 と と も に 視 野 を 広 げ、英 語 教 育 を 見 つ め 直 す 一 日 に し た い と 願 っ て お り ま す。オ ン ラ イ ン で の 参 加 に な り ま す の で、例 年 以 上 に 全 国 津 々 浦 々 か ら、多 く の 方 が 参 加 し て く だ さ る こ と を 期 待 し て い ま す。

英 語 教 育 に 関 わ る す べ て の 先 生 方、教 員 志 望 の 学 生 の 皆 さ ん、奮 っ て ご 参 加 下 さ い。

記

1. 期 日： 2020年11月1日（日） 8:30～16:40

2. 会 場： オンライン開催（Zoom を用いて行います。）

3. 主 催： E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会

4. 参加方法：

- 会員のみ参加可能。会員でない方は事前に入会（年会費 5,000 円）の手続きをなさって頂ければ参加できます。入会は本学会ホームページより行ってください。10月26日（月）まで年会費のお振込みが確認できない場合は、ご参加いただけません。
- 学生は、「ビデオによる公開授業（学生会場）」への参加のみ無料です。
- 会員も学生も、10月26日（月）までに参加申し込みが必要です。申し込みは本学会ホームページ、または以下の QR コードから行ってください。

⇒ 本学会ホームページ：<http://elecfriends.com/>



会員申込



学生申込

- 申し込みされた方へ、Zoom のミーティング ID を 10 月下旬にお知らせします。

5. 参加費（資料代）：会員 無料

6. 大会プログラム（予定。詳細は変更になる可能性があります）：

8:30	受付開始	12:50～13:40	研究部会発表Ⅱ
9:00～9:10	開会行事	13:50～14:40	研究部会発表Ⅲ
9:10～10:20	講演	14:55～16:30	ビデオによる公開授業 (一般会場)
10:30～11:20	研究部会発表Ⅰ		
10:45～12:20	ビデオによる公開授業 (学生会場)	16:30～16:40	閉会行事
11:30～11:45	会員総会		
11:55～12:50	昼食		

7. 内 容：

<午前部>

◆講演

タイトル：「新学習指導要領、このように学習評価を行う」(9:10～10:20)

講 師：本多 敏幸(千代田区立九段中等教育学校)

司 会：田所 毅(羽村市立羽村第一中学校)

この3月に、文部科学省国立教育政策研究所より『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料が示されました。この参考資料に書かれていることをもとに、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の観点別学習状況の評価を行うための具体例を紹介します。時間が限られていますが、評価計画や評価規準の作成方法、ペーパーテストの作成方法やパフォーマンス評価の実施方法などを、中学校を例に挙げて具体的に説明したいと思っています。

◆研究部会発表Ⅰ(10:30～11:20)

オーラルアプローチ研究部会

「Defining Sentences と Contrast を用いた効果的な導入方法」

「英語で授業を行う」ための基本的な技術である「オーラルイントロダクション」と「パターンプラクティス」について研究しています。今年度は、これまで部会の前半に行っていた、部員による模擬授業の動画をいくつか取り上げ、オーラルアプローチにおける「オーラルイントロダクション」の特徴である、「Defining Sentences」と「Contrast」が現れている場面を紹介し、効果的な導入方法について考えます。

発表者：

宮崎 太樹（八王子市立ひよどり山中学校）

牧野 彰宏（世田谷区立緑丘中学校）

樋口 はる菜（国立市立国立第一中学校）

リーディング研究部会

「本文内容理解を深める読解指導モデル」

リーディング研究部会では、学習者が読解過程に主体的に関わり、内容理解をより深化・発展させる指導法を研究しています。これまで、教師による推論発問を起点とした読解活動が Deep and Active Learning につながることを提唱してきました。本大会では、実際に推論活動を取り入れた読解指導を紹介し、分析・考察を加えたいうで、ひとつの読解指導の「モデル」として提案いたします。

発表者：

平川 新（東京大学大学院）

渡邊 聡大（海城中学高等学校）

杉本 康子（小平市立第二中学校）

竹野 芳弘（杉並学院高等学校）

<午後の部>

◆研究部会発表Ⅱ(12:50~13:40)

音声指導研究部会

「音声表現の『適切さ』を探る」

昨年度の Classroom English 研究の過程で、英語音声表現の「正確さ」についてはある程度語ることができるものの、その「適切さ」について語るのは難しいことがわかりました。今年度の発表では、音声表現の「適切さ」を決める要素にはどのようなものがあるのか、そしてそれは生徒への音声指導や教員養成の中でどのように活かしていけるのかについて考えていきます。朗読ワークショップ的な要素や授業実践報告の共有を交え、英語を音声で表現することについての意識が深まる発表を目指します。

発表者：

尾崎 ちひろ（東海大学菅生高等学校）
田中 敦英（桐朋中・高等学校）
中村 剛世志（学習院女子中・高等科）
松津 英恵（東京学芸大学附属竹早中学校）

評価研究部会

「大学入学共通テスト試行調査リスニングの分析と教室指導への示唆」

新学習指導要領の新たな指導観「思考力、判断力、表現力」と評価のあり方について、次年度から導入が予定されている大学入学共通テスト（新テスト）をリサーチ対象にしました。大学入試センターが開示している試行テストデータ（2017, 2018）で、今回はリスニングにおいて受験者の反応に特徴的な傾向が見られる項目を抽出、さらに現高3生を被験者にして受験後質問紙による聞き取り調査を行い、その回答行動分析を試みています。プレテストにおいて学習者がどのような部分に困難を感じているのか、後半の読み上げ1回項目も2回読み上げるとどうなるかなど、得られた知見から、日頃の指導について提案ができればと考えています。

発表者：

中村 隆（明治学院高等学校非常勤）
岩瀬 俊介（学法石川高等学校）
荒川 高広（千代田区立九段中等教育学校）
黄 俐嘉（世田谷区立緑丘中学校）
矢野 郁（東京都立江北高等学校）

ライティング研究部会

「英作文に対する効果的なフィードバックとは～自律的な書き手の育成に向けて～」

ライティング指導の1つの目的は、生徒を自律的な書き手に育てることだと言えます。その目的を達成するために、生徒が書いた英作文に対して、どのような箇所についてフィードバックを与えればよいか、また、その箇所へどのような内容のフィードバックを行うべきかを考えていきます。また、生徒自身が自分の作文を修正する際に、チェックリストを活用する意義やその手法についても考えていきます。

発表者：

工藤 洋路（玉川大学）
松岡 まどか（横浜雙葉高等学校）
石毛 順子（国際教養大学）
加藤 洋昭（青山学院大学大学院生）
木幡 隆宏（目白大学）
齊藤 澄江（法政大学）
長橋 雅俊（聖徳大学）

◆研究部会発表Ⅲ(13:50～14:40)

実践研究部会

「中・高連携を考えた領域統合型の言語活動 ―話すことから書くことへ―」

技能を統合させる活動についてはこれまで多くの実践が報告されています。実践研究部会でも、「話すこと」を中心に技能を統合させた言語活動例を過去に何回か提案してきました。中学校及び高等学校の新学習指導要領では、領域統合型の言語活動を行うことが求められています。そこで、本部会でも、領域統合型の言語活動の研究を始めることにしました。今回は学習指導要領には触れられていない「話すことから書くこと」について取り上げ、その具体例を紹介します。

司会：本多 敏幸（千代田区立九段中等教育学校）

発表者：

鈴木 省三（東京都立白鷗高校・附属中学校）

柿崎 伸樹（東京都立白鷗高校・附属中学校）

溪内 明（文京区立本郷台中学校）

高瀬 ひとみ（品川区立鈴ヶ森中学校）

原田 博子（文京区立第十中学校）

太田 裕也（品川区立鈴ヶ森中学校）

木村 豪（國學院大學栃木中学高等学校）

小学校英語教育研究部会

「小学校英語における同期型・非同期型授業でいかにインタラク션을促すか」

「新しい生活様式」を踏まえた小学校における外国語活動・外国語科の授業において、遠隔授業を組み合わせ合わせた学びの需要が高まっています。遠隔授業には同期型のオンライン形式と、非同期型のオンデマンド形式による授業があり、対面授業とは異なる学びの質保証が求められます。通常の教室場面とは異なる教師と児童の間のインタラクシオンや対話的学びを、いかに促し、引き出すかを考えます。

発表者：

長沼 君主（東海大学）

黒木 愛（大田区立洗足池小学校）

成田 潤也（神奈川県教育委員会）

幡井 理恵（昭和女子大学附属昭和小学校）

狩野 晶子（上智大学短期大学部）

◆ビデオによる公開授業

「中学校2年生の授業」

授業者：中島 真紀子（筑波大学附属中学校）

新型コロナウイルスにより、学校現場にもさまざまな影響があり、制限された中で授業を行わなければいけない状況がありました。そのような普段とは違う状況下での授業展開を、皆さんと共有したいと思います。

【一般会場】

解説者兼司会進行：工藤 洋路（玉川大学）

【学生会場】

解説者兼司会進行：工藤 洋路（玉川大学）・原田 博子（文京区立第十中学校）

8. 協賛企業（五十音順）

株式会社 いいずな書店

オックスフォード大学出版局

開隆堂出版 株式会社

教育出版 株式会社

株式会社 桐原書店

東京書籍 株式会社

株式会社 シェーンコーポレーション ネリーズ事業部

9. その他 ・通信費用は受講者のご負担となります。

- ・通信環境により接続できない場合には、ご自身の責任となりますので、事前の通信環境等のご確認をよろしくお願いいたします。

10. 問い合わせ先 E-mail: elec_taikai2020@elecfriends.com 八木 孝之（ヤギ タカユキ）